



2 乳・幼児後期（4～6歳）

この時期は、遊びや生活の中で、ほめたり認めたりしながら、社会性を育てることが大切です。

自発性の芽生え

- 集団遊びができるようになり、対人関係能力や秩序感覚を身に付け始める。
- 善悪の判断基準が形成され始めるとともに、良心が芽生える。
- 対人関係が保てるようになり、他者への思いやりをもつことができる。
- 自然や生き物に興味をもつようになる。
- 身の回りのことが自分ででき始め、基本的な生活習慣が身に付く。



保護者のかかわりは？

★社会性を身に付けさせるための基本的なしつけをしましょう。

- ・ 家庭のルールを守らせる。
- ・ 社会のルールを教える。
- ・ 善悪の判断基準を教える。
- ・ あいさつ、お手伝い、我慢などを親子で実践する。

★やる気を育てましょう。

- ・ 保護者が手本を示す。
- ・ 一緒にやってみる。
- ・ 笑顔でほめる、認める。

★子どもの自発性を伸ばしましょう。

- ・ 「自分でする」習慣を身に付けさせる。
- ・ 子どもの話を十分に聞く。

